



目次

「高次脳機能障害」について.....	1
リハビリセンター祭のお知らせ.....	2
「検査を受ける人に寄り添う気持ちで...」.....	3
外来診療案内.....	4

発行: 長野県立総合リハビリテーションセンター
 編集: 広報紙委員会
 住所: 長野市下駒沢 618-1
 TEL: 026-296-3953
 FAX: 026-296-3943
<http://www.pref.nagano.lg.jp/rehabili/index.html>

「高次脳機能障害」について

総合リハビリテーションセンター
 医務次長・神経内科
 田丸 冬彦

「高次脳機能」という言葉を聞いたこと、見かけたことはありませんか？

私たち人類の脳には、柔軟で多様な活動を可能とするためのシステムが構築されています。運動や感覚以外にも、様々な情報を蓄積して利用するための記憶、必要なところに意識を集中し必要な刺激は取り込む一方で余計な刺激を無視する注意、様々な情報を適切に取捨選択し、最適な行動を選んで実行する遂行機能といった、行動の効率化に役立つさまざまな機能があります。また、社会を構成して群れで活動するために、音声や文字・記号で意思をやりとりする言語、相手の考えや気持ちを推測する力、行動の損得を計算し欲求をコントロールし合理的な行動を行う力など、社会人として生きるための能力も複雑に発達しています。これらはすべて脳が担っている機能であり、他のどの生物（種）よりも発達していると信じられています。こういった脳の働きをひっくり返して、「高次脳機能」と呼ばれています。私たちは、生まれ落ちてから10年以上もかけて脳の中にこれらの機能を発達させます。

そうやって作り上げた脳が、血管障害（脳卒中）、外傷、感染症、中毒・低酸素・栄養障害などの様々な原因で傷つき高次脳機能がうまく働かなくなると、忘れっぽい、不注意ミスが起きやすい、複雑な手順の課題がこなせない、同時に多くのことが処理できない、損得計算に基づいた行動ができなくなる、他人の気持ちが汲み取れないなどの問題が起きてしまいます。そして、一人の人間として自立した生活や職業生活がこなせなくなってしまいます。これらが、高次脳機能障害とよばれる状態です。

高次脳機能に障害のある方を見ても、身体障害に比べるとちがって一見しては分からず、何かおかしいとは感じて何がおかしいのかわからないなど、障害のことを知らない人には理解しづらいものがあります。見えない障害と言われ、障害を持つ方の数は全国に30万人とも言われています。

長野県立総合リハビリテーションセンターでは、こういった身体障害とは違うタイプの障害への支援にも取り組んでいます。長野県では、当センターを含む県内4拠点で、高次脳機能障害支援対策事業に取り組んでおり、高次脳機能障害のリハビリテーション訓練や社会参加の支援、ご家族への支援などをおこなっています。身近に上に書いたような高次脳機能の障害が疑われる方がおられたら、遠慮なくご相談ください。

「総合リハビリテーションセンター祭」開催！！

今回で4回目となるリハビリセンター祭を、下記日程で行ないます。

期日：平成27年10月24日（土）

時間：10時から15時まで

場所：長野県立総合リハビリテーションセンター

「来て みて 体感！ リハビリセンター」

をテーマに開催いたします。

<ふたつのお願いがあります。>

- ① 今年度、総合リハビリテーションセンター祭の会場は、当センターのみとなります。
会場入り口は、当センター正面玄関となりますので、お間違えないようよろしくお願いします。
- ② お車でお越しの際は当センターの駐車場をご利用ください。
サンアップルの駐車場は、サンアップル利用で来られる方のものなので駐車しないでください。

それでは

お越しいただいた皆さんが、楽しいひとときを過ごしながら、当センターの機能や活動を知っていただけるよう工夫を凝らしてまいりますので、お誘いの上、是非お出かけください。

リハビリセンター祭 催し等のご紹介

バイオリニスト 牧 美花さん 演奏会

(10時30分～11時40分)

左手に障がいを持ちながら、
工夫と努力でハンディを乗り越え、
バイオリニストとなる夢を叶え、
演奏家として活躍されている
牧 美花さんの
バイオリン演奏とトークです。

- * リハビリセンターを探検だ！
- * お仕事 体験
- * 障がい体感
- * 訓練体験
- * そば打ち実演・新そば振る舞い
- * 障がい者就労施設の出店（パン、クッキーなどの販売）
- * 渋温泉の足湯
- * 献血（受付時間 13時～15時） など



長野県 PR キャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

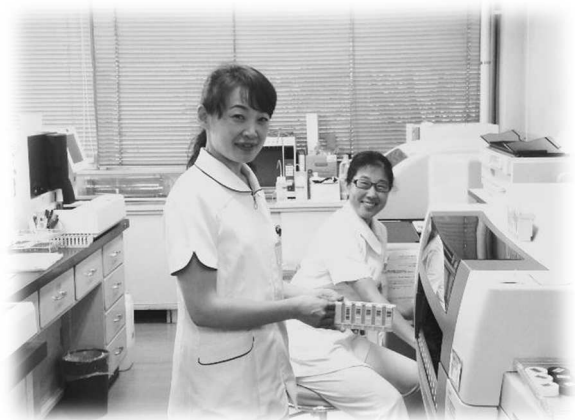
その他、色々な企画を用意して、ご来場をお待ちしております！！

「検査を受ける人に寄り添う気持ちで…」

薬剤検査科 臨床検査室
西村 ふさ子・上田 ひろみ

総合リハビリテーションセンター正面玄関をまっすぐに進むと検査室があります。白い大きな扉が閉まった検査室の中を少しご紹介します。

室内では2名の臨床検査技師（りんしょうけんさぎし）が、医師からの検査依頼を受けて、速く、正しく、診療に役立つ検査をしています。



病院の検査といったら何を思い浮かべますか？

検査には、血液や尿など患者さんの体から採ったもの（検体）を検査する検体検査と、心電図のように患者さんの体に触れて直接検査する生理機能検査があります。

検体検査ではお目にかかる機会はありませんが、外来で自己血採血の介助をすることがあります。

予定された手術では、術前に自分の血液を貯めておいて、手術の時に戻す（輸血する）『自己血液輸血』をすることで輸血の安全性を高めています。検査室では採血の介助、血液の保管などを担当します。

生理機能検査では、患者さんに協力していただきながら検査をしています。

総合リハビリテーションセンターの検査

検体検査

血液や尿などを調べる検査です

- 生化学検査（血糖・肝機能・腎機能など）
- 免疫血清検査（感染症・血中薬物濃度など）
- 血液検査（貧血・炎症程度・凝固能など）
- 一般検査（尿糖・蛋白・沈渣・便潜血など）
- 細菌検査（培養・同定・抗生物質感受性など）
- 輸血検査（自己血管理・輸血製剤適合検査など）

生理機能検査

機器を使って直接身体を調べます

- 心電図検査（安静・負荷心電図・ホルダー心電図）
- 肺機能検査（肺活量・努力性肺活量）
- 超音波検査（泌尿器・腹部など）
- 神経伝導速度検査・筋電図検査
- 尿流速検査・膀胱内圧検査 …

検査室では、感染対策委員会事務局と輸血療法委員会事務局をうけもちながら、リハビリテーションセンターに来院、入院、入所している皆さんが安心して快適に医療を受けていただくために、医師・看護師をはじめとする全職員とともにチームを組んで活動しています。

信頼される医療を行うための、検査室に関する施設基準の届出

- 感染防止対策加算Ⅱ 院内感染が起こらないような体制づくりと活動のため感染対策委員会事務局をしています。
- 輸血管理料Ⅱ 安全な輸血療法をいつでも行えるような体制づくりと活動のため輸血療法委員会事務局をしています。
- 輸血適正使用加算 大切な血液製剤を正しく使うためにあります。
- 検体検査管理加算Ⅰ 正しい検査がいつでもできるような体制づくりと活動をしています。

私たちは患者さんに安全安心で正しい検査をわかりやすく提供できますように、技術の向上と知識の習得に努めます。いつも検査を受けられる人に寄り添う気持ちで…検査をしたいと思っています。

外来診療案内

(平成 27 年 8 月現在)

担当医師	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科										
木下 久敏			○		○				○	○ 紹介状有
清野 良文	○	○ 紹介状有					○			
立岩 裕			○		○				○	○ 紹介状有
上條 哲義	○	○ 紹介状有					○			
依田 功			○		○				○	○ 紹介状有
大塚 訓喜	月 1 回 完全予約制									
神経内科・内科										
田丸 冬彦	○	○			○		○	○		
麻酔科										
笠間 進				○					○	
泌尿器科										
井川 靖彦										月 2 回 完全予約制

* 診療時間：午前 9:00～12:00、午後 13:00～16:00

- ◎ 外来診療は、患者様の待ち時間を減らし十分な診療時間を確保するため、**完全予約制**としています。予めお電話で診察予約をお願いします。
 なお、神経内科・内科、麻酔科及び泌尿器科の受診については、事前にご相談ください。

電話による診察予約受付時間	月曜日～金曜日：午後 1 時～午後 4 時
電話番号	(026) 296-3953 (代表)
備考	土・日・祝祭日は、診察予約受付を行っていません。

◎当センターでは、障害者支援施設部門のニュースレター「リハビリ通信」も年 2 回発行しています。(最近の「リハビリ通信」は、当センターホームページに掲載していますのでご覧ください。)